

令和8年度第1回東北森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和8年7月7日)

[illegible]

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
	○抽出No.4の契約について、PCB含有物の処理・管理が必要なため、金額が高い特殊工事ではあるが、100%に近い落札率になるのは、この工事にどのような性質があるのか。	○本工事は、PCBが含まれる塗装を剥がす、再塗装を行う、PCBが含まれる剥がした塗装を処理するといった3つの工程になります。PCBの保管・処理といった特殊部分はありますが、本工事の数量、歩掛については入札公告時に公表しており、結果として100%に近い落札率になったと考えられます。
	○抽出No.48の契約について、特殊性のある業務であるが、より競争性のある入札にするための対応はあるのか。	○東北森林管理局の内規で1者応札となった場合、原因と対策を講じることとなっており、入札参加資格を有する事業者へのヒアリング、アンケート調査を行い、より競争性のある入札になるよう検討を行います。
	○抽出No.133の契約について、2者に見積依頼しているが、選定理由を教えてほしい。	○事業対象地域で、これまでの実績ある事業者から選定しています。
	○今回の抽出案件は落札率が高い案件が選ばれているが、著しく低い落札率の案件に対する対応や線引きがあるのか。今回の期間で一番落札率が低い案件を教えてほしい。	○資料番号No.136の松くい虫防除事業が落札率約50%で今回の期間で一番落札率が低い案件となっています。落札率の低い案件については、提示された入札金額で発注事業を適正にできるのか否かを執行官が判断した上で落札宣言します。疑義がある場合は、保留することもあります。
	○今回の期間中で落札を認めなかった案件はあるのか。	○今回の期間中で落札を認めなかった案件はありません。また、入札を行う際は、一定条件を満たしている案件については、調査基準価格を設定しており、この価格を下回った場合は、落札宣言を保留し、調査を行うこととしています。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	令和7年度第3・4四半期について、おおむね適正に行われていたものと判断する。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	該当なし	

事務局：企画調整課